

高木貞治 たかぎ せいち 數學者、理學博士。明治八年四月二十一日岐阜縣生乳。
 昭和二十五年二月二十八日没（八七五—六〇）。明治二十年東京帝國大學
 理科大學卒。二十七年同大教授、この間ドイツに留學。昭和十五年文
 化勳章受章。帝國學士院會員。

著書 『過渡期ノ數學』（大阪帝大數學談話會編、昭和十年十月二十日
 岩波書店）『大阪帝國大學數學講演集』、『一般的教育
 』（共著、昭和十一年十一月二十五日岩波書店）、『解析概論（微
 分積分及初等函數論）』（昭和十二年五月十日岩波書店）、『近世數
 學史談』（昭和十七年三月十五日河出書房「科學新書」）、『數學小
 景』（昭和十八年六月十日岩波書店）、『訂正解析概論』（昭和十八年
 七月十五日岩波書店）、『代數的超越數論』（昭和二十二年二月二十五
 日岩波書店）、『數の概念』（昭和二十四年八月二十日岩波書店）、
 『The Collected Papers of TEIJI TANAGI』（黒田成勝編、昭和四十
 八年十一月二十日岩波書店）等。

